商工会議所活用レシピ

FILE 05

商工会議所フロアに創業準備室を設置 困ったら即相談です！

弊社は昇降設備工事業。主にホーム（家庭用）エレベーターを取り付けており、売上全体の6割を占めています。

創業のきっかけは、以前勤務していたメーカーの上司から「ホームエレベーターの設置をやってくれないか」と声を掛けられたこと。個人で請け負っていましたが、数に限界があります。「北海道ナンバー1の取り付け台数」を目指し平成16年4月に起業しました。当時は燃えていて、イケイケな感じでした。

ところが、いざ「会社」となると「個人」とは状況が変わって、分からないことだらけ。従業員を雇っても労働法制がさっぱり。必要な運転資金の融資は断られる……途方に暮れていたところ、札幌商工会議所の「創業ビレッヂ」を知ったんです。

入村審査のプレゼンテーションで審査員の熟練した外部の目で意見をいただき、自身の事業計画を客観視することができました。また、商工会議所主催の創業塾を2回受講し、イロハを学びました。なにより、創業ビレッヂという形で、創業時1年間、商工会議所と同じフロアに事務所を持てたのは助かりました。商工会議所は情報の宝庫。漠然とした質問でも職員の方との会話で問題点が整理され、その場で適切なアドバイスがいただけたり、専門家の助言を仰げたり。事業計画を練り直し、公的融資も受けられました。また、自身の経営に即した助成制度などを知ることもできました。

この仕事は、「売って（納品して）ハイおしまい」という訳にはいきません。安全性にも十分気をつけなければなりません。メンテナンスも非常に大切です。何かあった後では手遅れですからね。お客様の快適な暮らしをお手伝いするために、気にかかることは、どんなに小さなことでも見逃しません。サッシのガタつきなど、弊社の仕事とは全然違うことを言われることもあるのですが、工務店と連携して解決に努めています。そうした声に丁寧に対応していくことが明日の仕事につながっているのだと思っています。

社名（フリー・グロウス）には「自由な発想で成長」する企業でありたいという思いを込めました。毎日が勉強で、毎日が挑戦です。

有限会社
フリー・グロウス
代表取締役
福田 和之 さん

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

担当者からひと言

当所では、平成16年に「創業ビレッヂ」を設置。所内にスペースを確保し、創業準備事務所として活用いただきながら、金融や販路開拓などスピーディーできめ細かい支援に努めています。

福田さんは第1期生。入村審査であるプレゼンテーションでは相当緊張されていたようですが、「創業」は人生をかけた決断。安易に認めるのではなく厳しさも知った上で覚悟を決めてほしかったのです。

福田さんの常に勉強を怠らない姿勢には、こちらも力が入ります。ビレッジは卒業されましたが、職員一同応援団であることに変わりはありません。

札幌商工会議所（北海道）
中小企業・創業支援課長
片岡 直之